

第28回全国研究大会

大会テーマ「トラウマとアディクション
～ASWが果たす役割を考える」

2013年11月2日(土)・3日(日)

会場：札幌市男女共同参画センター(エルプラザ)

「開催のご挨拶」

全国のASW会員のみなさま、またアルコール関連問題に関心をお持ちのみなさまに、第28回全国研究大会のご案内をいたします。今年は10年ぶりに北海道の地で開催いたします。2011年の埼玉大会、そして昨年の名古屋大会と、私たちは東日本大震災という体験をどのように捉えていくかを考えてまいりました。またASW協会は2012年から石巻市へ会員を派遣し、被災地における訪問活動およびアルコール関連問題のコンサルテーションなどをおこなっています。

震災の体験は今も私たちのなかに大きな影響を与え続けているからこそ、被害に遭われた方々のなかに、今後さらに具体的な形でアディクション問題が浮上することを懸念しながら、同時に私たちが果たす役割を考える必要を感じています。今大会のテーマは「トラウマとアディクション」とし、シンポジウムや分科会を通じて参加されるみなさんと共にテーマについて考え、情報や智恵を共有していきたいと思っております。



11月の札幌は、すぐそこまで冬がやって来ているような時期ですが、2日間の大会を通じて参加されるみなさんが多くのものを持ち帰ることが出来るよう準備してまいります。どうぞ、お誘い合わせのうえご参加下さい。また会員のみなさまにとっては、協会の法人化という重要な議案が話し合われる総会がございます。こちらませひご出席いただきますようお願いいたします。最後に、今大会は北海道支部の会員および非会員の有志による実行委員会によって運営いたしますが、みなさまを札幌にお迎え出来ることを心から楽しみにしております。

第28回日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会全国研究大会

大会長 大嶋 栄子 (特定非営利活動法人リカバリー)

会場のご案内

「札幌市男女共同参画センター」
(札幌エルプラザ)

札幌市北区北8条西3丁目

* JR札幌駅北口より徒歩5分です。

* JR札幌駅から地下通路で会場と直結(出口12)しています。地下通路内

に表示がありますので、参照して下さい。

* 会場には立体駐車場があります。RV車は台数に限りがあるため、会場の北側にある有料駐車場をご利用下さい。

* 全国研究大会では、11/2(土)に3階エルプラザホール、11/3(日)は4階の中研修室、大研修室、3階の健康スタジオを使用します。なお、事務局は4階の研修室1となっています。





1日目 2013年11月2日(土)

- 10:00-13:00 理事会(第1研修室)
- 13:00- 受付開始
- * 受付はシンポジウムが開催される3階エルプラザホール前になります。
 - * 受付終了後はホール内で道内のアディクション関連の自助グループに関する書籍ブースや福祉事業所による授産品の展示販売がおこなわれますので、自由にご覧下さい。
- 13:30- 開会の挨拶・オリエンテーション
(3階 エルプラザホール)
- 13:45-15:00 シンポジウム第1部
- 講演: 「トラウマとアディクション」
信田さよ子さん(原宿カウンセリングセンター 所長/臨床心理士)

* 現在、雑誌『現代思想』に「依存症をめぐる臨床」を連載中の信田さんですが、臨床のなかで見えてくるトラウマとアディクションの関連についてお話いただきます。信田さんはまた、暴力の被害/加害の双方に対する同時並行的援助に関して、調査および研修をおこなうNPO法人を立ち上げ、積極的に活動されています。

- 15:15-16:15 シンポジウム第2部
- リレートーク: 「ASW協会の被災地支援」
- 岡崎 直人(さいたま市
こころの健康センター)
- 齊藤 健輔(東北会病院)
- 藤田 さかえ(久里浜医療センター)
- 佐古 恵利子(リカバリハウスいちご)

* ASW協会は宮城県より依頼を受け、石巻市にて支援を行っています。その内容は、アルコール問題を抱えると思われる当事者や家族への訪問、地域の関係者がアルコール関連問題について理解を深める研修の実施、また事例に関するコンサルテーションなど多岐に渡ります。これまで派遣された会員が登壇し、被災地におけるアルコール関連問題をめぐる状況や、支援なかで感じたことをお話いただき、全体の討議へと繋げていきます。

- 16:15-16:45 フロアからの質問・フィードバック
- 17:00 シンポジウム終了
- 18:00 懇親会
札幌グランドホテル「ビッグジョッキ」
(札幌市中央区北2条西4丁目)

2日目 2013年11月3日(日)

- 9:00- ASW協会総会(大研修室)
- 11:00-15:30 分科会
- * 各分科会ごとに10:30より受付をおこないます。2日目のみご参加の方は、それぞれの会場を確認のうえ受付を済ませて下さい。
 - * 各分科会ごとに、適宜休憩および昼休みを設定します。詳細は分科会の司会、コーディネーターより開始時にアナウンスがおこなわれます。
- 15:30-16:00 分科会の全体フィードバック
(大研修室)
- * 各分科会の内容を全体で分かち合い大会を終了。



(分科会1 当事者から学ぶアディクションの基礎 —現状と向き合うための“術(すべ)”を知る— 大研修室AB：定員60名

アディクションの治療現場で行われてきた集団療法、グループを主体とした治療プログラムは、高齢による能力低下、女性への配慮の必要性、発達障害などの能力の不均衡などにより、十分に機能しないことが出てきています。認知行動療法を中心としたプログラム修正は進んでいますが、脱法ドラッグやインターネットなどのアディクションの広がりも含めて、治療現場が試される場面が増えています。専門医療機関以外にも、急性症状や相談場面で登場することの少なくない依存症者の関わりには、経験のある援助者も、関わり始めたばかりの援助者も、こうした現状に戸惑いながら向き合っているのではないのでしょうか？

分科会1では、こうしたアディクション現場の変遷について整理してみていきます。その上で、仮想事例を通して、向き合う「術(すべ)」を回復者カウンセラーである北海道ダルク施設長の森さんとともに考えていきます。森さんから私たちへの期待や、援助者に求められることなどについて話を聴きながら、回復過程の「見守りかた」を考えていきます。併せて、長くこの仕事をするための学び方など、支援を続ける私たちの「基盤づくり」についても考えていけたらと思います。

講師：森 亨(北海道ダルク施設長)

司会：高橋 陽介(久里浜医療センター)

(分科会2 窪田 暁子先生と共に語る —『福祉援助の臨床』を手がかりに— 中研修室：定員60名

この分科会は、窪田先生をお招きしての特別企画です。先生が長年にわたる臨床および教育の場面で、あるいはスーパーバイズのなかで考えてこられたことを凝縮した近著

『福祉援助の臨床』は、短く簡潔な文章のなかにたくさんの智恵と深い思索が詰まっています。この本を手がかりに私たちから窪田先生にいろいろな問いかけを発し、あるいは率直な思いを投げかけながら、参加されるみなさんと共に、窪田先生のお話をうかがう時間といたします。講演というよりも、先生の方からフロアのみなさんとの対話を大切にしたいという希望で実現した企画です。

司会：石塚 亮太(青十字サマリヤ館)

檜垣 知里(リカバリーハウスそれいゆ)

(分科会3 ソマティックス-自分の身体に働きかけるメソッドの体験学習)

健康スタジオ2：定員15名

このワークショップでは、ストレスマネジメントや援助者のセルフケアとして役に立つソマティックスという技法を紹介します。ソマティックスとは、身体を感じながら、ゆっくりと動かす誰にでもできる簡単なエクササイズで、心と身体のかなかに無意識に蓄積するストレスを解消する技法です。

前半は、ソマティックスとは何かについての簡単な講義と、ストレスに対する筋肉の反射について学びます。日常のなかで無意識に習慣的に反応する筋肉の反射を理解します。次に実際に身体をゆるめることで、リラックスするとはどういうことかを体験します。

後半は、身体を「感じながら」「動かす」ことの大切さを、筋肉と脳のしくみを通して理解します。さらに、エクササイズを通して実際に「感じながら」「動かす」練習をし、無意識にストレスをためるのではなく、自分の意思で日々ストレスを解消する方法を学びます。なお、当日はスエットなど動きやすいものを持参し着用下さい。

講師：平澤 昌子(臨床心理士・ソマティックス認定トレーナー)

司会：橋本 ひとみ(滝川中央病院)

(分科会4 ト라우マとアディクション)

講師：大嶋 栄子(NPO法人リカバリー)

一援助の枠組みとアプローチの実際一

司会：井上 恭子(神奈川県立せりがや病院)

大研修室C：定員30名

「人はなぜ依存症になるのか」(E. カンツイアン& M. アルバニーズ)において著者らは“自己治療としてのアディクション”という視点を提示しています。この分科会では、前日のシンポジウムを受けて、実際にトラウマを背景にアディクションを抱えるクライアントに対して、私たちがどのようにかかわっていくのかを、講義と演習を通じて考えます。

従来一般的だったのは、ALにせよクスリにせよ「止めることから始まる」とされてきた援助の枠組みです。またトラウマに関しては、アディクション治療を優先させなければ再び嗜癖行動に戻ってしまうとして、直接的に関与しない姿勢が一般的ではなかったかと思われま

しかし現在ではいくつかのことに留意し、むしろ当事者にとって、アディクションなしでは過ごせなかったトラウマからの解放についてアプローチしていこうとする援助がおこなわれるようになってきました。そこで分科会では事例を使いながら、トラウマとアディクションという二つの難しさが絡まり合う状態を、どのように解いていくのかをみなさんと考えていきたいと思

*** 今大会では以上4つの分科会がおこなわれま**

*** 大会申し込みの際に、第1希望と第2希望の分科会を明記下さい。出来る限り調整しますが、会場**

*** 15:30からの全体フィードバックは、大研修室ABCを連結しておこないます。**

<会場周辺のレストラン・コンビニのご案内>

* 会場3Fにカフェ、1F東口および西口にはコンビニエンスストアがあります。また、周辺にはレストランも数多く営業しています。特に昼食の手配はいたしませんので、各自でご用意下さい。

* 当日配付資料のなかに地図やお勧めの情報を入れてありますので、活用下さい。

大会参加費および申し込みについて

ASW会員	5,000円	
非会員	5,500円(2日間通し)	
	2,500円(11/2のみ)	3,500円(11/3のみ)
学生	1,000円	
.....		
懇親会	5,000円	

①別紙の「参加申し込み表」に必要事項をお書き下さい。

②大会参加費・懇親会費の合計金額を確認し、研究大会の口座に振り込みし、その振込み票を「参加申し込み表」の所定の場所にのり付けして下さい。

③「参加申し込み表」を全国研究大会事務局へFAXして下さい。またはメールの場合には、必要事項をメール本文中に明記し、参加費振込み票についてはスキャンして添付にて送信下さい。

④全国研究大会事務局より、参加者へ確認のFAXまたはメールをいたします。万が一、FAXもメールも届かない場合にはお電話をください。

第28回全国研究大会事務局

郵便番号065-0033

札幌市東区北33条東15丁目1-1

エクセレムビル4F

「地域活動支援センターそれいゆ」

電話：011-374-6014

FAX：011-374-6041

Mail: recovery@phoenix-c.or.jp

<振込み口座>

ゆうちょ銀行(口座名義人は大嶋栄子)

* 他銀行から

店名(908) キュウゼロハチ

店番908 普通

口座番号 2142040

* ゆうちょ銀行から

記号 19020 番号 21420401